

2. 博物館活動報告

①開館日数・入館者統計

月	開館日数	教職員				本学学生				卒業生				一般				午前計	午後計	夜間計	入館者計
		午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計				
4月	22	65	99	0	164	223	600	0	823	1	3	0	4	184	171	0	355	473	873	0	1,346
5月	21	56	87	0	143	553	870	0	1,423	0	3	0	3	251	145	0	396	860	1,105	0	1,965
6月	23	74	91	0	165	289	747	0	1,036	3	3	0	6	256	375	0	631	622	1,216	0	1,838
7月	24	77	91	0	168	347	1,807	0	2,154	0	0	0	0	980	1,286	0	2,266	1,404	3,184	0	4,588
8月	2	2	2	0	4	28	38	0	66	0	0	0	0	602	704	0	1,306	632	744	0	1,376
9月	12	22	45	0	67	40	174	0	214	0	1	0	1	354	285	0	639	416	505	0	921
10月	22	68	58	0	126	158	378	0	536	2	2	0	4	202	521	0	723	430	959	0	1,389
11月	22	50	85	0	135	197	583	0	780	182	183	0	365	316	721	0	1,037	745	1,572	0	2,317
12月	16	42	66	0	108	279	581	0	860	1	4	0	5	158	290	0	448	480	941	0	1,421
1月	15	28	55	0	83	29	132	0	161	1	0	0	1	52	74	0	126	110	261	0	371
2月	15	36	44	0	80	9	20	0	29	4	1	0	5	133	162	0	295	182	227	0	409
3月	20	58	71	0	129	25	70	0	95	1	7	0	8	182	277	0	459	266	425	0	691
合計	214	578	794	0	1,372	2,177	6,000	0	8,177	195	207	0	402	3,670	5,011	0	8,681	6,620	12,012	0	18,632

表 1 平成 29 年度入館者数

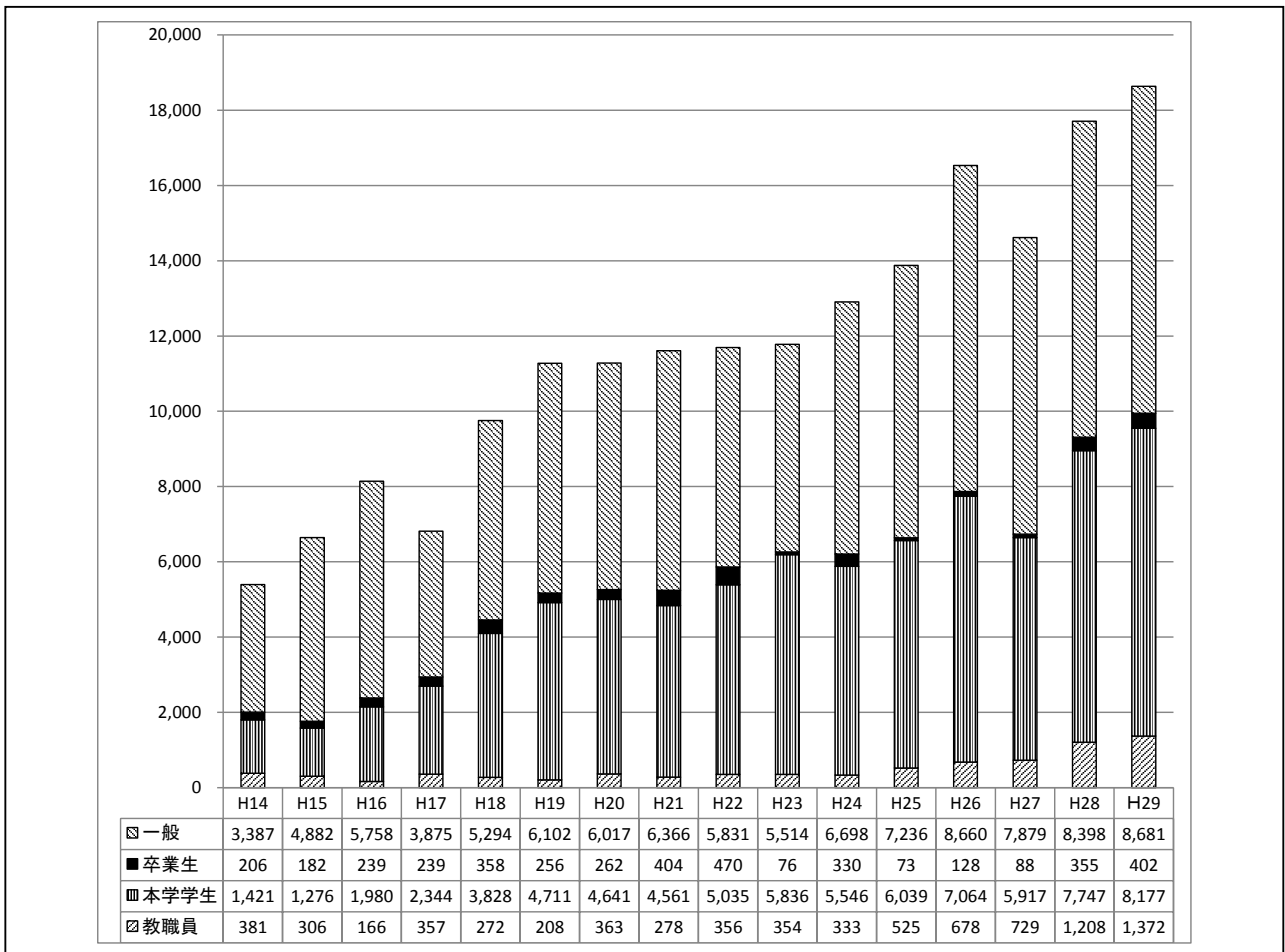


表 2 入館者数の推移

平成29年4月1日～平成30年3月31日間の開館日数、入館者数と各年度の入館者の推移は表1・2に示したとおりである。

開館以来、休館日は原則的に土・日・祝日としていたが、平成21年度より第3土曜日を開館することとした。

当館は、博物館法の博物館に相当する施設で、その開館基準は、年間100日以上が義務付けられている。本年度は214日開館し、延べ18,632人の利用者があった。

また、平成29年度の団体見学は以下のとおりである。

〈団体見学等〉

・キャンパスツアー

4月13日(木) 福島県郡山市立郡山第一中学校 6名	9月10日(日) オープンキャンパス 498名
4月14日(金) 千葉県(私立)八千代松陰高校 40名	9月27日(水) 埼玉県(私立)正智深谷高校 47名
4月20日(木) 千葉県柏市立柏高校 4名	10月4日(水) 長野県上田染谷丘高校(県立) 43名
群馬県立前橋商業高校 45名	10月5日(木) 埼玉県立桶川高校 47名
4月21日(金) 東京都(私立)武蔵野女子学院高校 19名	茨城県立牛久高校 42名
4月28日(金) 千葉県立茂原高校 41名	10月12日(木) 静岡県立下田高校 41名
5月9日(火) 埼玉県立浦和東高校 35名	10月18日(水) 埼玉県(私立)国際学院高校 36名
5月18日(木) 神奈川県立橋本高校 42名	10月24日(火) 神奈川県立金井高校 18名
5月20日(土) 栃木県(私立)宇都宮短期大学附属高校 121名	群馬県立高崎東高校 45名
6月1日(木) 千葉県(私立)日本体育大学柏高校 49名	10月25日(水) 駒澤大学附属苫小牧高校 209名
6月7日(水) 茨城県立土浦第三高校 42名	10月27日(金) 静岡県立伊東商業高校 25名
6月8日(木) 神奈川県立岸根高校保護者 40名	11月2日(木) 千葉県立国府台高校 25名
6月13日(火) 静岡県沼津市立沼津高校 39名	11月7日(火) 千葉県立市川東高校 25名
6月14日(水) 愛知県豊田市立崇化館中学校 20名	千葉県立松戸高校 13名
6月16日(金) 東京都(私立)聖パウロ学園高校 6名	11月8日(水) 広島県呉市立呉高校 8名
6月19日(月) 神奈川県立旭高校保護者 34名	長野県立諏訪清陵高校附属中学校 14名
6月20日(火) 茨城県立水戸第三高校 40名	11月10日(金) 神奈川県川崎市立橋高校 21名
6月23日(金) 埼玉県立越谷西高校保護者 41名	山梨県立富士河口湖高校 17名
7月4日(火) 神奈川県川崎市立高津高校 54名	11月14日(火) 富山県立石動高校 30名
7月5日(水) 世田谷区立駒沢中学校 156名	11月15日(水) 千葉県立松戸六実高校 40名
7月6日(木) 茨城県立港北高校(保護者) 38名	11月16日(木) 茨城県立下妻第二高校 40名
7月10日(月) 千葉県(私立)中央学院高校 91名	11月21日(火) 千葉県(私立)千葉英和高校 11名
7月11日(火) 千葉県(私立)東京学館浦安高校 72名	静岡県立磐田高校 21名
7月14日(金) 東京都(私立)立志舎高校自由見学 7名	11月22日(水) 群馬県(私立)東京農業大学第二高校 41名
7月16日(日) オープンキャンパス 623名	12月1日(金) 埼玉県さいたま市立浦和南高校 42名
7月17日(月) オープンキャンパス 633名	12月6日(水) 茨城県立取手第一高校 42名
7月26日(水) 富山県立入善高校 26名	12月11日(月) 長崎県立清峰高校 6名
8月5日(土) オープンキャンパス 639名	12月12日(火) 東京(私立)駿台学園高校 42名
8月6日(日) オープンキャンパス 737名	12月14日(木) 神奈川県立大磯高校 37名
	12月15日(金) 新潟県(私立)新潟青陵高校 26名
	千葉県立流山高校 5名
	神奈川県立藤沢西高校 45名
	・その他団体
	5月13日(土) 教育後援会定期総会 15名
	6月7日(水) 目黒万葉集愛好会 14名
	6月17日(土) 専修大学高島先生授業 8名
	6月28日(水) 洞上墨蹟研究会 6名
	7月5日(水) クラブツーリズム 21名
	7月9日(日) 教育懇談会 166名
	7月11日(火) クラブツーリズム 23名
	7月15日(土) クラブツーリズム 16名
	7月19日(木) 田道万葉集の会(目黒) 23名
	7月20日(金) クラブツーリズム 13名

2. 博物館活動報告

- 7月26日(水) 宗門僧侶教育施設視學員 2名
7月28日(金) クラブツーリズム 19名
7月29日(土) 商業教育研究会 14名
9月16日(土) 散歩の会 13名
10月16日(月) 瀋陽大学研究者 9名
10月24日(火) 合唱団OB 13名
11月8日(水) 火曜塾 11名
11月9日(木) 仏教系大学図書館協会 9名
11月16日(木) 所沢史跡めぐりの会 12名
11月27日(月) キーンズブランド大学交換留学生 15名
1月29日(木) 駿台予備校 6名
2月21日(水) 曹洞宗山梨県宗務所
教化人権合同研修会 20名
3月16日(金) 藤沢市老人会「歩こう会」 4名

②会議・出張

運営委員会

第1回

- 日時：平成29年7月19日(水) 午後5時より
場所：禅文化歴史博物館 B1F 博物館実習室
議題：1. 平成29年度 禅文化歴史博物館運営委員委員について
2. 平成28年度 博物館活動報告
3. 平成28年度 決算報告書の提出について
4. 平成28年度 展示・催事スケジュール・開館カレンダーについて
5. 平成29年度 当初予算について
6. 前期企画展について
7. 禅ブランディング事業について

第2回

- 日時：平成29年11月24日(金) 午後4時30分より
場所：禅文化歴史博物館 B1F 博物館実習室
議題：1. 平成29年度 博物館活動報告
2. 平成29年度 資料購入のための補正予算について
3. 禅文化歴史博物館資料選定委員の選任に関する件
4. 平成30年度予算案に関する件

資料選定委員会

- 日時：平成30年1月16日(火) 午後5時15分
場所：禅文化歴史博物館 2F 貴賓室

議題：禅文化歴史博物館の資料購入(図書)(備品)について

出張

- 5月31日(水) 業務用機器の視察(エプソンストアエア)(佐藤)
11月1日(火) 栃木の古刹・大中寺と仏教史跡を巡るバスツアー2017(飯塚館長・塚田・佐藤)

③展示・セミナー・その他の活動

・展示

展示室は、本学の特色を生かした禅の文化と歴史をテーマとした常設展示室(1階)、さまざまな大学の情報を発信する企画展示室(2階)、『施檀林』の学寮時代からの歴史を辿る大学史展示室(2階)で構成されている。

平成29年4月1日～平成30年3月31日間の展示・催事は、巻末の別表の通りである。また、個々の内容は、以下の通りである。

常設展示室

常設展示室は、各展示室に掛軸風のデザインの解説グラフィックを配し、ガラスケース内に各展示室のテーマに対応した資料を展示している。ガラスケース内の展示について展示室AとBの二部構成としている。なお、特別公開ならびに特集展などとして、次の展示を行った。(担当：佐藤・塚田)

特別公開 道元禅師真筆『正法眼蔵嗣書』

- 春季：3月23日(木)～4月7日(金)
秋季：10月24日(月)～11月4日(金)

特別公開 大涅槃図 2月16日(金)～3月2日(金)

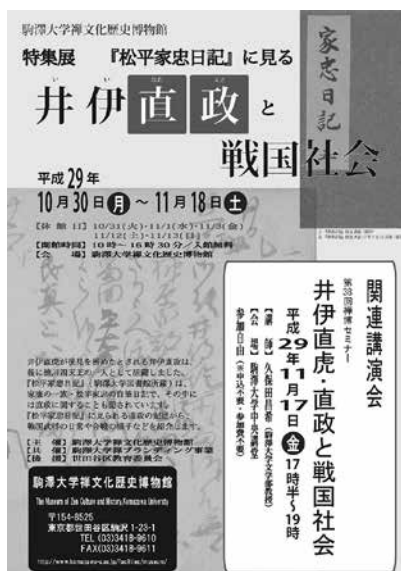


特集展 『松平家忠日記』に見る井伊直政と戦国社会

会期：10月30日（月）～11月18日（土）

本学図書館所蔵の貴重図書である松平家忠の日記（『家忠日記』）は、現存する数少ない戦国武将の自筆日記であり、戦国時代の社会を知る上で重要な資料である。今回はその中から井伊直政の日常や合戦に関する記事を展示した。あわせて「井伊直政肖像画」（彦根城博物館所蔵）や「井伊直虎・関口氏経連署状」（浜松市蜂前神社蔵、浜松市博物館保管）等を写真パネルで紹介し、戦国社会への理解を深める展示とした。

なお本展示は関連行事（第38回禅博セミナー）とともに、本学禅ブランディング事業との共催事業として行った。（担当：塚田）



禅博歳時記

仏教行事に親しみをもってもらうため、簡易的な展示を行い、叢林（禅宗寺院）の年中行事を紹介した。今年度は以下のテーマを月ごとに設けた。（担当：横山）

- 6月：首座法戦式のいわれ
- 7月：精霊棚（お盆飾り）
- 9月：お彼岸とお月見
- 10月：達磨忌
- 11月：首座法戦式のいわれ
- 12月：成道会
- 1月：禅寺の正月

企画展示室

企画展 頂相～禅僧の肖像画～

会期：5月15日（月）～7月31日（月）

当館ならびに本学図書館に所蔵される頂相17点を一堂に公開し、臨濟宗・黄檗宗・曹洞宗などさまざまな頂相を通して禅文化に親しむことを目的とした。また当館蔵『正法眼蔵嗣書』より、道元禅師の頂相に対する見解に関する部分や、本学図書館蔵の頂相に関する禅籍の展示や、国宝の頂相3点（無準師範頂相・東福寺蔵、蘭溪道隆頂相・建長寺蔵、宗峰妙超頂相・大徳寺蔵）を写真パネルで紹介することで、頂相への理解を深める展示とした。（担当：塚田）



企画展 第一次満蒙学術調査研究団

～多田文男フィールドノートの記録から～

会期：10月9日（月）～11月18日（土）

本学地理学教室で昭和14（1939）年から昭和53（1978）年まで勤めた多田文男氏のフィールドノートの活用を目的に、展示を実施した。今回は、第1次満蒙学術調査研究団を取り上げた。多田氏のフィールドノートを中心に、当研究団の調査目的やその工程、日本国内での報道など、その全容について紹介した。また、本学図書館所蔵の多田文庫も活用、紹介しつつ展示を行った。（担当：松浦）



第11回博物館学講座企画展

農村の信仰 ～世田谷いまむかし～

会期：11月27日（月）～12月19日（火）

博物館学講座の授業の一環として、受講生自身の手による企画展を実施した。

今回は、世田谷区が農村から都市へと変化する中での信仰の移り変わりをテーマとした。農村の生活の様子、家内安全などの日々の祈願、雨乞いなど豊作に関する祈願に注目し、現在に息づく信仰や祭りなども視野に入れた展示を行った。

各企画展示室のテーマは以下の通り。

- 企画展示室1 世田谷の移り変わり
- 企画展示室2 農村での願い
- 企画展示室3 豊作への願い（雨乞い）
- 企画展示室4 農村の信仰のいま



大学史展示室

大学史展示室では駒澤大学ゆかりの禅僧の墨蹟、貴重な寄贈資料等を随時展示している。本年度は11月に展示替えを行い、下記のテーマのもと大学史の一端を紹介した。

特集展17 耕雲館のいまむかし～今年で竣工90年～
会期：4月8日（土）～9月29日（金）

耕雲館竣工90年目にちなみ、竣工から現在までどのように使用され、親しまれてきたのかを、「図書館時代」「耕雲館時代」「禅文化歴史博物館」の3期に分けて紹介した。各時代の思い出の写真とともに、建設中の耕雲館の油絵（設計者菅原榮蔵画）、落成記念絵葉書、『図書館誌』など資料をあわせて展示した。（担当：木村）

特集展18 駒大学寮と自治制度

～大正時代の大学寄宿舎～

会期：10月9日（月）～3月30日（金）

駒澤大学は、江戸時代に登場した僧侶教育機関である学寮（学林・檀林）にその淵源を求められるが、現在の仏教研修館竹友寮は、いわば時代の要請に呼応する形で、姿を変えた学寮と言える。本展示では、本学の前身・曹洞宗大学の学寮が、大正時代に自治制を施行していた頃の資料に注目し、学生らが行なった自治制度の成立からその終焉に至る資料を中心に展示した。（担当：横山）



・セミナー

禅の歴史と文化を解りやすく伝えるため、展示にあわせ「禅文化歴史博物館セミナー」（講演会）や「実践セミナー」を開催した。

禅文化歴史博物館セミナー

第37回 一休像の変容～その頂相をめぐって～

開催日：6月29日（木）17：00～18：30

講師：当館館長 飯塚大展

会場：本学中央講堂

参加者：60名

企画展「頂相～禅僧の肖像画～」の関連行事として行った。室町時代の禅僧・一休宗純について、前半は各種の一休頂相とその像賛を見ることによって、後半は同時代の語録・抄物や後世の狂歌集などから、一休像が時代によって変容していくさまを探った。（担当：塚田）



第38回 禅博セミナー 井伊直虎・直政と戦国社会

開催日：11月17日（金）17：30～19：00

講師：本学文学部教授 久保田昌希

会場：本学中央講堂

参加者：50名

特集展『松平家忠日記』に見る井伊直政と戦国社会』の関連催事として行った。『松平家忠日記』の資料的意義とともに直虎・直政を中心とした井伊氏の歴史的動向を踏まえ、資料をもとに緻密な考証を行い、戦国武将の日常や直政の人物像に迫った。



また戦国武将の修養と禅宗・禅僧との関わりについても言及する内容となった。（担当：塚田）

実践セミナー

第34回 坐禅と禅の食事作法

開催日：3月9日（金）18：00～20：00

講師：仏教学部教授 角田泰隆

会場：本学深沢校舎 日本館

参加者：24名

本学禅ブランディング事業との共催事業として行い、同事業「曹洞禅のその源流研究チーム」のチームリーダーの角田先生の指導のもと、講話と坐禅、そして応量器を用いた食事作法を実践し、叢林での行事や禅文化への理解を深める場とした。（担当：塚田）



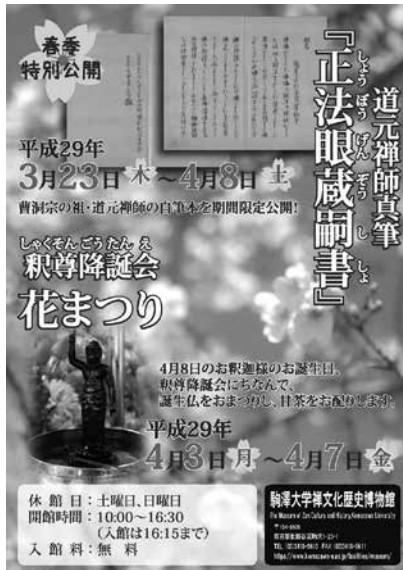
・その他の活動

年中行事に合わせたイベントや、禅宗寺院を巡る本学教職員を対象としたバスツアー等の学外活動を行った。

釈尊降誕会（花まつり）

開催日：4月3日（月）～7日（金）

4月8日の釈尊降誕会に因み、1階ロビーに花御堂を設置し、誕生仏をまつり、甘茶をふるまった。



ふれあい七夕祭り

開催日：7月6日（木）～7日（金）

参加者：1,367名



来館者に短冊を用意し、願い事を書いていただき、当館正面玄関前に設置した笹竹に吊した。

えがおの写真展2017 Smile

～短冊に願いと笑顔を含めて～

会期：7月6日（木）～8月6日（日）

ふれあい七夕祭りの期間中、願い事を書いた短冊を持つ来館者の笑顔の写真を撮影し、1階エントランスで写真を掲示するとともに、設置したモニターで映像を公開した。

バスツアー

栃木の古刹・大中寺と仏教史跡を巡るバスツアー2017

開催日：11月1日（火）8：30～20：00

参加者：21名

平成29年度のバスツアーは栃木県方面を対象とした。曹洞宗関三刹の一つである大中寺、鳥居氏の菩提寺常楽寺といった曹洞宗の名刹とともに、である下野国分寺跡・薬師寺跡などを古代仏教寺院史跡めぐり、仏教ならびに曹洞宗の歴史・文化への理解を深める研鑽の場とした。行程は次の通り。（担当：塚田）

- 大中寺—壬生町立歴史民俗資料館—常楽寺—
- 下野国分寺跡・しもつけ風土記の丘資料館—
- 下野薬師寺跡・下野薬師寺歴史館



④出版事業

なし

⑤資料収集

当館では曹洞宗からみた禅の歴史と文化にスポットを当て、曹洞禅僧の墨蹟を中心に収集している。また臨済宗・黄檗宗・中国僧の墨蹟や禅画、寺院関係資料、禅文化の中で派生した美術工芸資料、東洋の仏教美術資料に至るまで、幅広い分野の資料を収集につとめている。購入資料は、展示に供すると同時に、博物館学講座等での学習にも使用している。通年で購入検討資料についての情報を集め、資料選定委員会にて審議して購入し、必要に応じて外部の有識者による意見を求めている。

固定資産

教育用図書資料

- ・良寛墨跡「問答歌」 一幅
- ・良寛墨跡「八月十一日付齊藤伊右衛門宛て消息」 一幅
- ・永平道元禅師行状之図 対幅

教育用備品資料

- ・古代・中世瓦一式 21点
- ・伝軽野廃寺軒丸瓦 1点

	当初予算	補正予算	決算額	残額
博物館収藏品費 (図書)	1,000,000	16,000,000	12,918,000	3,082,000
博物館収藏品費 (備品)	1,000,000	1,000,000	630,000	370,000
計	2,000,000	1,000,000	13,548,000	3,452,000

表3 予算・決算(資料購入)

寄贈資料

なし

資料修復・資料保存環境等

資料修復はなし。

資料保存環境については、夏期に空気環境調査と生物生息調査を実施した。一定の改善はみられてきたが、定期的な清掃と環境調査を通じ、環境の維持に努める必要がある。

また、平成22年度以来継続している当館所蔵「正法眼蔵辨註」版木の摺り作業を行い、保存対策を行った。株式会社アダチ版画研究所の摺師により、今年度は巻八途中から巻九途中までの33枚66面を実施した。

⑥教育・普及に関する協力

・博物館学講座

当館は、規程第3条5項に謳われているように、博物館学講座への協力に関する事業を行う目的で開設された施設でもある。当館での博物館学講座の利用を、科目ごとにまとめると次の通りである。

博物館実習(学内)

館所蔵の実物資料を用いた掛軸等の取扱い方の実践、博物館資料の記録方法の学習(資料の写真撮影)、博物館施設見学(展示室・作業室・収蔵庫)、博物館のバックヤードの見学(学芸員の視点から、現在の博物館の取り組みを紹介)、展示実習の企画・準備に関する助言・補助。

4月11日(火) 博物館学授業 49名

4月18日(火) 博物館学授業 45名

4月25日(火)	博物館学授業	43名
5月9日(火)	博物館学授業	19名
5月16日(火)	博物館学授業	18名
5月23日(火)	博物館学授業	40名
5月30日(火)	博物館学授業	20名
6月6日(火)	博物館学授業	19名
6月13日(火)	博物館学授業	38名
6月20日(火)	博物館学授業	34名
6月27日(火)	博物館学授業	32名
7月4日(火)	博物館学授業	38名
7月11日(火)	博物館学授業	38名
7月18日(火)	博物館学授業	35名
7月24日(月)	博物館学授業(補講)	33名
7月25日(火)	博物館学授業(補講)	37名
7月26日(水)	博物館学授業(補講)	17名
9月19日(火)	博物館学授業	33名
9月26日(火)	博物館学授業	33名
10月3日(火)	博物館学授業	37名
10月10日(火)	博物館学授業	26名
10月17日(火)	博物館学授業	19名
10月24日(火)	博物館学授業	36名
11月7日(火)	博物館学授業	34名
11月14日(火)	博物館学授業	36名
11月21日(火)	博物館学授業	35名
12月5日(火)	博物館学授業	32名
12月12日(火)	博物館学授業	30名
12月19日(火)	博物館学授業	30名
1月9日(火)	博物館実習	38名

展示実習

第10回博物館学講座企画展

農村の信仰 ～世田谷いまむかし～

準備・撤収期間：11月7日(火)～12月22日(火)

会期：11月27日(月)～12月19日(火)

参加人数：延べ 591名

博物館実習(学内)の一環として、講座受講者による企画展示室を利用した展示の実習が行われた。博物館側としては、より円滑な協力体制をとれるよう引き続き努めていきたい(詳細は展示・セミナー・その他の活動を参照)。

博物館実習(収集)(11月)

写真現像―長野県で行なわれた文書・石仏調査写

真のフィルム・印画紙現像作業等

参加人数 延べ27名

・授業活用

当館では各学部に関連した企画展示や、図書館所蔵の貴重書展示を行っており、展示室や資料を利用した様々な講義・演習が行われている。

〈授業見学等〉

・新入生セミナー

4月25日(火) 総合・上野先生 40名

4月26日(水) 現応・西村先生 32名

経済・鄭先生 39名

4月27日(木) 現応・松田先生 29名

現応・館先生 32名

4月28日(金) 経営・若山先生 26名

経済・松井先生 41名

商・曾我先生 28名

商・齋藤先生 28名

5月1日(月) 経済・田中先生 41名

経済・水野先生 41名

5月8日(月) 経済・小倉先生 40名

経済・渡辺先生 40名

経済・王先生 29名

商・石川先生 25名

5月11日(木) 総合・出井先生 29名

5月12日(金) 市場・菅野先生 26名

商・石川純治先生 25名

5月17日(水) 総合・山縣先生 60名

GMS・絹川先生 41名

商・石川祐二先生 35名

5月18日(木) 国文・櫻井先生 45名

総合・滝澤先生 30名

5月19日(金) 経営・高木先生 32名

経営・渡辺先生 31名

経営・明石先生 31名

5月22日(月) 総合・岩崎先生 35名

5月25日(木) 国文・近衛先生 50名

5月31日(水) 商・曾我先生 35名

現応・松本先生 32名

現応・百田先生 31名

現応・岩波先生 30名

6月1日(木) 総合・東先生 30名

	国文・平子先生	50名
6月2日(金)	市場・飯田先生	26名
	総合・小林先生	48名
6月5日(月)	総合・河合先生	22名
6月6日(火)	経営・鹿嶋先生	24名
6月7日(水)	総合・篠原先生	15名
	総合・持丸先生	40名
6月14日(水)	総合・佐藤先生	43名
6月16日(金)	総合・三好先生	50名
6月17日(土)	総合・松田先生	30名
6月19日(月)	市場・小野瀬先生	26名
6月21日(水)	GMS・平井先生	45名
6月27日(火)	総合・萩原健次郎先生	35名
7月7日(金)	市場・西村先生	26名
7月12日(水)	経営・豊田先生	30名
7月13日(木)	総合・塩旗先生	30名
	・その他授業	
4月21日(金)	法律・熊谷先生授業	22名
5月16日(火)	仏教・山口先生授業	33名
5月23日(火)	歴史・小泉先生授業	41名
6月22日(木)	歴史・酒井先生授業	13名
6月28日(水)	歴史・角道先生授業	14名
7月6日(木)	禅・村松先生授業	20名
7月11日(火)	仏教・飯塚先生授業	8名
7月13日(木)	歴史・中野先生授業	35名
10月20日(金)	歴史・廣瀬先生授業	16名
10月24日(火)	地理・高橋先生授業	28名
11月17日(金)	歴史・小泉先生授業	6名
12月8日(金)	政治・清滝先生授業	11名
12月12日(火)	仏教・飯塚先生授業	7名

⑦博物館資料の活用

(1) 資料の掲載

【昭和18年歴史地理学科の集合写真】

駒澤大学教育後援会『会報』第168号(平成29年7月22日発行)

【『維新回天帖』巻一所収「大久保利通書簡」・巻四所収「小松帯刀書簡」】

『別冊歴史人SPECIAL 西郷隆盛と幕末維新の争乱』KKベストセラーズ(平成29年12月19日発行)

【正法眼蔵嗣書】

『傘松』大本山永平寺(平成30年4月10日発行)

(2) 資料調査

【『維新回天帖』巻二所収「中岡慎太郎書簡」】

中岡慎太郎館学芸員豊田満光(平成28年8月25日)

【月舟宗胡頂相】

個人(平成29年8月3日)

【『維新回天帖』巻一】

歴史学科小泉先生(平成29年11月13日)

【卍山道白筆 号偈并序】

個人(平成29年11月17日)

【大森禅戒筆 梵字般若心経】

個人(平成29年12月1日)

(3) 資料貸出

・中岡慎太郎館企画展「中岡慎太郎「倒幕」の決意」

(会期：平成29年4月26日～6月29日)

『維新回天帖』巻二所収「中岡慎太郎書簡」

・本学図書館内企画展「駒澤大学図書館の歴史」

(会期：平成29年10月9日～11月30日)

「新築駒澤大学図書館絵葉書」1組・旧図書館関係画像20点

・博物館学講座企画展「農村の信仰～世田谷いまむかし～」

(会期：平成29年11月27日～12月19日)

大正～昭和期駒澤大学古写真4点

⑧渉外

本年度も、10月30日(月)～11月10日(月)の期間に、東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク2017」に協力する形で、「東京都選定歴史的建造物の公開事業」に参加した。

⑨広報・紹介・取材協力など

(1) 博物館紹介

・ドキュメンタリー番組(タイ)「Tripitaka-The Living Messages」(平成29年度末放送予定)

・『大学知的見聞録2018』(株)アローコーポレーション(平成29年5月31日発行)

・『読売新聞』「シティライフ ミュージアムに行こう」(平成29年6月27日号)

・『読売新聞』「Myキャンパス「実物見よう」仏像ツアー」(平成29年7月28日号)

・ぴあMOOK『楽しい大学に会おう本』ぴあ株式会社(平成29年8月30日発行)

- ・『サンデー毎日』「大学博物館で知と出会う」毎日新聞出版（平成29年10月31日発行）
- ・テレビ朝日「東京サイト」(平成29年11月30日放送)
- ・『世田谷ライフ』VOL.64, (株)樫出版00社（平成30年2月10日発行）
- ・「世田谷まちなか観光」ホームページへの掲載（平成30年2月）
- ・『駒澤ライフ』(株)樫出版社（平成30年4月20日発行）

（2）展示紹介

- ・企画展「頂相～禅僧の肖像画～」
『せたがや』No.1625（平成29年5月15日）
『書道界』VOL.29 NO.7（平成29年7月15日）
- ・特集展『松平家忠日記』に見る井伊直政と戦国社会
『せたがや』No.1647（平成29年11月1日）
- ・特別公開「大涅槃図」
「読売タブレット」〈会員制配信サービス〉（平成30年2月13日～3月2日）
『せたがや』No.1660（平成30年2月15日）

（3）セミナー紹介

- ・第37回禅博セミナー「一休像の変容～その頂相をめぐって～」
『せたがや』No.1628（平成29年6月15日）
- ・第38回禅博セミナー「井伊直虎・直政と戦国社会」
『せたがや』No.1647（平成29年11月1日）